

考えよう！平和と未来



NO. 31 2015/10/9 東京都教職員組合江戸川支部 TEL 3651-3153

「IS 脅威」安保法で増大！ Bangladesh で日本人殺害 IS が犯行声明

安保法の成立で「日本の自衛隊は世界どこでも米軍の後方支援で戦争に参加します」と全世界に宣言したようなもの。戦争に参加すれば、「相手国やグループから敵国・敵国民になり攻撃・テロの対象になる」と安保法制の危険性を指摘してきました。

したが、来年3月の法の施行の前にもそれが現実になりつつあります。

すでに自衛隊はアフガン戦争での米艦への海上給油、イラク戦争での米兵輸送等で戦争に加担。「平和国家日本」のイメージは大きく傷つき、それ以降、世界で活動する日本人が殺害されました。しかし、憲法9条の歯止めにより自衛隊は一発の銃弾も撃たず、「平和国家日本」のイメージが壊れて残っているのが現状と言えます。しかし、戦争法の成立・施行そして戦争へと突き進むと「平和国家日本」のイメージは完全に壊れ、アメリカ並みの「テロに怯える国」が現実になります。一刻も早く法の廃棄が求められています。



Bangladesh で日本人殺害

<NHK ニュースより概要抜粋>

10月3日、Bangladesh で現地に住む日本人男性（66歳）が銃で殺害。IS Bangladesh 支部が犯行声明。首相は「国内で IS の存在は確認していない」が「国内のイスラム勢力が関わった疑いがある」という見方を示す。イスラム過激派に詳しい専門家は「シリアから帰国した IS 戦闘員が組織を作って事件を起こしたとも考えられる」とし、「IS に同調する国内の勢力による犯行」との見方を示す。

IS が日本の在外公館攻撃を呼びかけ 9月10日

IS の英字機関紙でアメリカの主導する軍事作戦に加わる連合の一員として日本を名指しし、ボスニア・マレーシア・インドネシアの日本外交施設を標的としたテロ攻撃を呼びかけた。

廃止実現へ

渡辺 郁夫（書記長・西一之江小）

日本が先の戦争から学んだことは、戦争は人の命(生き物・自然・文化も)を奪い、破壊するものであって、二度と起こしてはいけないものだという決意であったはず。その決意がこめられた憲法を、安倍内閣の思惑でないがしろにしてしまう…まさしく、戦後最悪の内閣です。日本の各地からわき上がっている「戦争法廃止！」の一点で、手を結び合い・つながりを広め合い、廃止を実現していきましょう。



これからは正念場

荒川 清司（第四葛西小）

国会を取り巻く人のうねりの中で、ともに反対のコールをしながら、絶対にこの法案は許せないという参加者の熱意を肌で感じました。たたくいはこれからは正念場です。この運動をさらに大きくするために、これからも仲間と声をかけ、集会に足を運び、盛り上げる力になろうと思います。

まさかこんなことが！

渡部 京子（船堀二小）

「戦争に加担しない国」がずっと続き、これが日本の誇りと思っていたので今回の強行採決には「まさかこんなことが起きるなんて……」という驚きと共に強い憤りを感じました。へりくつを並べて立憲主義を守らない安倍政権を倒したい！同じように不安と怒りを感じてデモや国会前行動に参加したきた広範な人々とともに「教え子を再び戦場に送らない」の思いを込めて運動を続けていきたいと思ひます。



駅前宣伝 10月9日（金）JR小岩駅南口 5:30~7:00

国会前集会 10月19日（月）6:30~国会正門前

★行動に参加したら報告してください！ 3651-3153 FAX3655-3521